

夏祭り 国体炬火がミナモちゃん点火台に

今年の夏祭り盆踊り大会では、岐阜県での開催が47年ぶりの岐阜清流国体・清流大会を受けて、炬火リレーを行いました。



炬火リレーは天然記念物の「中将姫誓願桜」がある願成寺で採火し、芥見東地区、芥見南地区の隅々まで廻り、祭り会場の芥見東小学校でミナモちゃん点火台に点火して祭りが始まりました。

当日は小雨にもかかわらず多くの参加者で模擬店にもぎわい、各店は長蛇の列ができました。また生演奏による盆踊りは小さなお子さんも参加しての微笑ましい踊りの輪になりました。



配布

- 大洞 4-77
- 東山 4-50
- 北山 38-360
- コモン北 5-89
- 桜台 23-336
- 桜市 40-291
- 柏台 31-329
- 柏市 26-203
- 桐丘 23-195
- 桐市 6-41
- 紅葉 21-268
- 紅市 16-113
- 桜2P 1-25
- 計 237 /2377

手作りの里山 皆で育てる愛情が必要

—毎日新聞岐阜支局記者・立松 勝さん

若いころはよく山に登った。大抵、春夏秋の3シーズンに出かけ、ほとんどが長野県と岐阜県の山だった。

岐阜市近郊の山は金華山に象徴される小山が多く、どれも1時間も歩けば頂上にたどり着く。

現在、岐阜市の「大洞の里山つくり会」が整備している里山も散策には手ごろな小山の一つである。シニア世代の多い会員のひたむきな行動は、重労働の積み重ねで本当に頭が下がる。

森林を伐採して山の風通しをよくし、広場をつくり、遊歩道を切り拓いていく作業は厳しい。しかし、山は整備の手を緩めると、すぐに荒れ山に戻ってしまう。

人が山に手を加えた以上、息の長い整備が求められる。あせりは禁物だ。

どんな事も、一步一步、根気に進めていくことが一番難しい。「手作りの里山」は、みんなで育てる深い愛情が必要だと思う。



毎日新聞立松さんの記事(詳しくはホームページをご覧ください)

夏祭り 炬火リレーに参加し嬉しかった

—芥見東小学校6年・加藤 拓歩さん

ぼくは、この炬火リレーに参加してよかったと思いました。なぜかという清流国体をもり上げることができたからです。この火が国体の炬火と合わせられていくなで、すごいなあと思います。

ぼくは、はたを持って走ったのですが道でつまずいてしまい、後ろにいた2人がはたを放してしまいました。その子たちは何も言わずにまたはたを持って走ってくれたのでうれしかったです。でも、みんなに悪いことをしたなあと思いました。

ゴールでは、お父さんやお母さんがいてくれて、拍手をしてくれたのでうれしかったです。

ぼくたちは桜台市営の子たちに渡しました。ぶじに炬火とはたを渡すことができました。ほっとしました。



助け合い 悩む私に嬉しかった一言

—桜台市営支部長・川瀬 通子さん

100年に一度といわれる不景気が来たかと思えば追い打ちをかけるように、3・11東北の大震災。日本は一体この先どうなるのでしょうか。

そのようなことを思いながら日々過ごしていた私が支部長に選任されビックリ玉手箱！！これが私に課せられた運命？なんて思いつつ、私が今出来ることで皆さんに少しでも役に立つのならと・・・もう8月になりました。私どもの支部は、高齢の方や身障者の方も多く、住みよい地域作りに微力ながら頑張りたいと、まい進しております。

最初は多くの心配事もありましたが・・・、私の能力不足が悩みでした。そのような時、ある自治会長さんの一言が私に力強い安心感を与えてくれました。

『弱者同士、解らない者同士皆で力を合わせれば、何でも乗り超えられるから皆でガンバリましょう！』嬉しかったです・・・。



敬老会 9月16日(日) 会場:東部コミュニティセンター 送迎バス有り 遠藤伸子さんのチャンネルをお楽しみください

65歳以上のひとりの暮らしの方、高齢者世帯の方へ「災害時要援護者名簿登録」はお済みですか？↓災害発生時に心強いです。お問合せは岐阜市都市防災政策課へ

民生児童委員 地域に密着し奮闘中 !!

—民生児童委員（大洞）・加藤 正武さん
 少子高齢化・核家族化により家庭内や地域内の関係は、希薄になり、多様化している。特に虐待、いじめ、青少年犯罪、高齢者の孤独死などは深刻である。

さらに生活保護世帯、ニート、引きこもり、障がい者、災害時要援護者、母子・父子世帯、独り暮らし高齢者など、民生委員・児童委員の活動に必要な個人情報不足している。実際に提供を受けている情報との間には大きなギャップもある。



住民のニーズに即した「琴線に触れた」活動、「この人なら安心できる」人柄、「気軽に声を掛けてもらえる」信頼関係を目指して自学研鑽している。各種研修会に参加し知識などを習得・体得して対応するものの厚い壁にぶつかることもある。

この年齢になると、覚えたつもり、知っているつもりでも三歩あるいたら忘れる。その度に、各種法令・関係資料に目を通す。それでも忘れ、反復演練の日々。 □■

中将姫誓願桜 輪之内町へ2世お嫁入り

—中将姫誓願桜保存会・吉澤 頼宣さん

およそ1250年前の伝承によると藤原豊成の娘が中将姫で、5歳の時に実母が死去。その後、後妻で入った継母はあまりにも美しく全てにそつのない中将姫を妬み、家来に暗殺を命じた。姫が15歳の時である。

姫は数人の家来と奈良の居城を捨て、噂で同宗派があると聞いたこの大洞の如意山願成寺に辿り着いた。余りの長旅で婦人病を患い、90日間願成寺の十一面観音様に祈願した結果、病気が完治した。感謝の願いを込めて植えた桜が中将姫誓願桜である。

中将姫が道中、輪之内に立ち寄られた時に一本松をお手植えされたが、大洪水で流されしまったとのこと。そこで平成24年3月、中将姫誓願桜の2世を何とか輪之内町にとの木野町長の要望に玉田保存会長が応え、接木の苗を提供。6月の輪之内あじさい祭りで贈呈式を行った。 □■



木野町長から感謝状をいただきました

善意 「小さな手助け」がスタート！

—社会福祉協議会芥見東支部長・五十川 勝也さん
 芥見東支部では「小さな手助け」事業を始めました。「以前できていたことが出来なくなった」「誰かに助けてもらいたい時がある」との声を受けて、「高齢者・障害者・子育て世帯など」の生活をサポートします。

県・市社協も注目している事業で(福祉だよりぎふ9月号掲載)、住民同士が支え合い、助け合うボランティア・バンクです。「大きな手助け」でなく、草取り・電球の交換・庭木の剪定・パソコンの文章作成・重い荷物の運搬・話し相手など1時間ぐらいで出来る手助けです。



困ったことがあったら電話してみてください。担当(代表)市川241-8418または松原243-3346まで。

ご依頼内容によっては対応できないこともありますが、ボランティア・バンク登録の皆様の善意で支えられて成り立つ事業です。この地域に定着し、住みよいまちづくりに役だってほしいと思っています。 □■

ボランティア あら〜久しぶり 広がる輪

—自治会連合会理事・武田 奈美

「あら〜っ！久しぶりね。また来てくれたの?」。6月に訪れた宮城県女川町の仮設住宅で暮らすおばあちゃんとの再会。ふるさとがもう一つ増えたような懐かしさ。

職場のボランティア活動で訪れるようになった女川町は、山々が連なり何となく大洞の景色にも似ているなあと親しみを感じます。

ボランティア活動とは、広辞苑で『活動そのものが楽しく、人間的ふれあいがあり、家庭生活や近所づきあいを越えたより広範な地域社会の中で、相互に喜びを感じるもの』とあります。

自治会でのボランティア活動も3年目となり、「あら〜っ！久しぶりね。元気にしてた?」と声を掛けてくださる方も増えました。微力ながら地域の役に立てていたら幸いです。

子どもたちにとってふるさととなるこの地で、『利他の心』の大切さを磨き、育み、『支え合いの輪』を広げたいと感じています。 □■



「芥見若っこバス」が9月1日から運行開始 芥見パローへも乗り入れ1日おきにリフレ見方面にも行きます。